



やる気・元気・根気・勇気・思いやり



2026.1.14

第9号

三学期スタート ~本年も皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます~

三学期がスタートし校舎内に子どもたちの元気な声がもどってきました。嬉しいことです。寒々しかった校舎も活気づき始めました。今年は午年。「行動力」「前進」「躍動」の年と言われています。子どもたち一人ひとりが「やる気・元気・根気・勇気・思いやり」を意識しながら、様々な場面で活躍することを願っています。



二学期の終業式では、子どもたちに二つのお願いをしました。

一つは、冬休み中は年の切り替えのタイミングなので「こんなことをしてみたい」「こんなことに挑戦してみたい」など、今年の目標を決めてみてくださいということです。三学期や新学年に向けて決めたことを、ぜひご家庭でも応援していただきたいと思います。二つ目は健康、安全に留意してくださいということです。冬休み中、大きな事故や怪我などの報告はなく、安全に過ごすことができたようで安心しています。

三学期の授業日数は1～3年生が47日、4・5年生が48日、6年生が46日です。「一月往ぬる二月逃げる三月去る」と言われるように、三学期は毎年あっという間に過ぎてしまう感覚を持っています。私たち大人も心にゆとりを持ち一日一日を大切に過ごしていきたいですね。



二学期終わりの大掃除も隅々までとても丁寧にきれいにしてくれましたが、本日の掃除も一生懸命がんばっていました。三学期も引き続き子どもたちの輝く姿を見ることを楽しみにしています。

白根東小学校の校章のいわれ



白根東小学校の校章にはどんな意味が込められているのでしょうか。

「西野小学校」と「在家塚小学校」が統合した「白根東小学校」は、昭和45年9月1日に新校舎で合同の二学期始業式を行いました。昭和46年3月には、校章と校歌の制定式を行っています（白根東小学校150周年記念誌より）。記念誌には校章の意味は書かれていませんが、これまでの資料を見る中ではおおよそ次のような意味があることが伝えられてきています。

◇学区の主要作物である桃・李・桜桃・桜の花びらをモチーフにしている

◇放射状の部分は、白根東小学校の児童が未来に向けて羽ばたいてほしいという願いが込められている

◇花弁の外側は南アルプス（白根山・白峰山）の山々を表している

また、平成28年からは校章の意味として「5枚の花弁は、白根東小学校の校訓（五本の木）を表現している」と加えられています。校章には素敵な意味があるようです。これからは、そのようなイメージで校章を見てみるとよいですね。



自主学習の取り組みを



校長室のドアをノックし「失礼します。〇年〇組の〇〇です。」と、自主学習のノートが1冊終わると、子どもたちは校長室にノートを見せにきてくれています。

普段の授業の復習を積み重ねたり、様々なことに興味・関心を持ち、調べたことをまとめたりしています。ノートを見ると中には今まで知らなかった内容もあり、子どもたちのノートから学べることが多く、いつも楽しみにしています。「書く」ことは「考えること」であるとも言われています。頭や心の中にあることを整理したり、記憶の定着を助けたりすることができます。自主学習のノートのページが増えしていくことに喜びが感じられるよう、学校と家庭から子どもたちに温かい声をかけていけるとよいと思います。

(文責 白根東小学校 校長 小池孝二)